リーディングDXスクール事業 【実践事例】

大阪市立木津中学校（大阪市）【指定校】

＜教育利用＞ ③英語科「Program 7 A Gateway to Japan」

事前準備

① 情報モラル教育の実施

- 生成AIの概要説明と生成AIとの付き合い方の考察

②There is/are～の英文を提示

- 英文をどのようにプロンプトで入力すれば、Image Creator from Microsoft Designer（以下、「Image Creator」という）でイラストを出力できるかを試行して確認

学びを深めるために

作成した英文を「ChatGPT」で添削し、正しい英文かを確認する。

There is the park. Two boys are playing soccer.
One boy with blue uniform of the number 10 looks very angry to other boy and he is going to kick a soccer ball. The other with blue uniform of number 9 and all back hair looks happy.

修正した文章は以下です：
"There is a park. Two boys are playing soccer.
One boy, wearing a blue uniform with the number 10, looks very angry at the other boy. He is about to kick a soccer ball. The other boy, wearing a blue uniform with the number 9 and black hair, looks happy. The sun is rising on the right side of them."
修正のポイント：
"The park" を "A park" に修正しました。
説明："The" を "A" に変更して、どこかの公園を指すようにしました。
"The number 10" を "with the number 10" に修正しました。
説明："The" を "with" に変更して、ユニフォームに番号が付いていることを示しました。
"all back hair" を "and black hair" に修正しました。
説明："all back hair" を "and black hair" に変更して、髪の色を正確に表現しました。
以上が修正箇所です。他に質問があればお知らせください。

生徒の反応

- 生成AIは考えることが早い一方で、自分が思っていることと違う返事をしたり、間違ったことを教えたりすることがあると知ることができました。
- 生成AIの欠点も見つけることができたので、特徴をしっかりと理解する必要があると感じました。

授業の流れ

1 絵からThere is/are～の英文をグループで作成

各グループで、指導者が準備した絵をもとに英文を作成し、Microsoft Teamsの投稿を利用して提出する。

2 生徒が作成した英文から、Image Creatorで指導者がイラストを生成

指導者は提出された英文を、Image Creatorに入力し、イラストを生成する。返却されたイラストを見て、元の絵に近づけられるように、英文を修正する。

3 作成した英文をChatGPTで添削

修正した英文を、ChatGPTで添削し、その結果をプリントに書き写し、よりよい英文とはどのようなものかを知る。